

# 試験時間割 ■大学

【開門】 午前9時00分

## 【試験開始時刻】

一般入試以外は、以下の時刻から試験が始まりますので、試験開始時刻の1時間前から20分前の間に試験室または面接控室に入室してください。

午前10時00分	AO経験値入試Ⅰ期・最終、基礎学力入試、学校推薦入試、スポーツ特別入試Ⅱ期・Ⅲ期、編入学・転入学入試Ⅱ期
午後2時00分	AO経験値入試Ⅱ期、商業系学校推薦入試、ファミリー入試、専門高校・総合学科対象入試、地域活動対象入試、スポーツ特別入試Ⅰ期、帰国子女入試、社会人入試、私費外国人留学生入試、編入学・転入学入試Ⅰ期

## 一般入試

一般入試A、一般入試B、一般入試最終では、各科目で時間割を設定しています。

受験する科目によって試験開始時刻が異なりますので、受験する科目の入室完了時間までに試験室に入室してください。2限目以降は前の科目の退室時間から入室できます。

## ■一般入試A・B 試験時間割

	1限目	2限目		3限目	4限目
入室完了時間	9:50	11:10	昼食 35分	12:50	14:10
試験時間(50分間)	10:00-10:50	11:20-12:10		13:00-13:50	14:20-15:10
退室時間	10:55	12:15		13:55	15:15
科目	英語	国語		化学 生物	日本史 数学

※科目選択制限について

- ・化学と生物は同時に選択できません。(総合健康学科養護コース、人間看護学科、食物栄養学科)
- ・日本史と数学は同時に選択できません。(食物栄養学科、児童教育学科、ビジネス学科)

## ◆昼食の持参・空き時間について

昼食の時間をまたぎ受験をする場合、必要に応じて昼食を持参してください。(学内の食堂・売店は営業していません)

昼食の時間(12:15~12:50)以外の時間に食事をとることはできません。また、科目選択の都合上、空き時間ができる場合、待機できる教室を設けていますのでご利用ください。一度学外に出ても構いません。

## ■一般入試最終 試験時間割

	1限目	2限目
入室完了時間	9:50	11:10
試験時間(50分間)	10:00-10:50	11:20-12:10
退室時間	10:55	12:15
科目	英語	国語

人間看護学科のみ、科目試験後に引き続き、面接を行います。

- 「英語のみの受験者」は英語の科目試験終了後、11:20から順次行います。
- 「国語のみの受験者」・「英語と国語の受験者(プラス1制度を利用)」は、国語の科目試験終了後、12:30から順次行います。

# 試験時間割 ■短期大学部

【開門】 午前9時00分

## 【試験開始時刻】

一般入試以外は、以下の時刻から試験が始まりますので、試験開始時刻の1時間前から20分前の間に試験室または面接控室に入室してください。

午前10時00分	基礎学力入試、学校推薦入試、スポーツ特別入試Ⅱ期・Ⅲ期、AO経験値入試最終
午後2時00分	ファミリー入試、専門高校・総合学科対象入試、地域活動対象入試、スポーツ特別入試Ⅰ期、帰国子女入試、社会人入試、私費外国人留学生入試

## 一般入試A・B

一般入試A、一般入試Bでは、各科目で時間割を設定しています。

受験する科目によって試験開始時刻が異なりますので、受験する科目の入室完了時間までに試験室に入室してください。2限目は1限目の退室時間から試験室に入室できます。また、試験室以外に、待機できる教室を設けていますのでご利用ください。

	1限目	2限目
入室完了時間	9:50	11:10
試験時間(50分間)	10:00-10:50	11:20-12:10
退室時間	10:55	12:15
科目	英語	国語

## 受験上の諸注意

---

- (1) 試験当日は、午前9時に開門します。正門で受験票を提示し、受験案内（面接控室、試験室、諸注意などを記載した印刷物）を受け取ってください。
- (2) 試験開始時刻の1時間前から20分前の間に、試験室または面接控室に入室してください。試験開始時刻から20分以上遅刻した場合は受験できませんので、ご注意ください。
- (3) 面接控室では、机の上に受験者の受験番号と氏名を印字したシールを貼り付けていますので、自分の席に着席し、受験票を机の上に置いてください。また、入室するまでに携帯電話・スマートフォン・タブレット端末の電源は切っておいてください。
- (4) 試験当日は必ず筆記用具、受験票（出願後にダウンロードしてください。）を持参してください。  
筆記用具は黒鉛筆（H、F、HB）に限ります。
- (5) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、監督者からその場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。
  - ・カンニング（試験に関するメモやコピーなどを机上等に置いたり、見たりすること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）
  - ・他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
  - ・配付された問題冊子を、試験室から持ち出すこと。
  - ・解答用紙を試験室から持ち出すこと。
  - ・「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めたりすること。
  - ・試験時間中に、机の上に置けるもの『①受験票②黒鉛筆（H、F、HBに限る。）鉛筆キャップ③シャープペンシル（メモや計算に使用する場合のみ可、黒い芯に限る。）④プラスチック製の消しゴム⑤時計（辞書や電卓等の機能がないもの）⑥眼鏡』以外のものを、監督者の許可なく使用すること。
  - ・「解答やめ。」の指示に従わず、解答を続けたりすること。
- (6) 災害、交通機関の遅延などにより、試験開始時刻までに来られない場合は、速やかに入試課（06-6429-9254）まで連絡してください。
- (7) 公共の交通機関をご利用ください。

## 受験に際して特別な配慮が必要な場合

---

身体の障がいやけがなどで、通常の受験が難しい場合は、入試課に連絡の上、出願の1か月前までに所定の用紙によりご相談ください。（Tel 06-6429-9254）